



光学懇話会 F 委員会について

光学懇話会幹事長 藤原史郎*

昨年発足した F 委員会 (F は future の意味) については何か書けという編集委員会のご命令なので、記録を兼ねてその意義、目的、設立の経緯などを紹介する。

光学懇話会は昭和57年に創立満30周年を迎えた。本会は「光学に関する研究の推進および技術の向上をはかる」ことを目的としており、講演会、セミナーの開催、機関誌の発行等、学界と産業界のインターフェイスとして、わが国の光学の発展に多大の寄与をしてきたことは異論のないところであろう。現在の光学の対象は、光学器械が中心であった昭和27年の発足当時と異なり、レーザー応用、光情報処理、光応用計測、光エレクトロニクス等々ときわめて多岐にわたっている。しかしながら本会に対する古いイメージから、新分野の研究者、技術者が必ずしも本会に加入するとは限らず、新しいエネルギーのすべてを吸収できないという事態が生じている。このような現状のもとで、光学懇話会の性格、活動領域、諸事業の内容等を長期的観点から再検討することは、本会の将来の発展のため時宜にかなった措置といえよう。

去る昭和56年12月の幹事会に、石原聰幹事から「光学懇話会 F 委員会の発足の提案」が提出された。それは多忙な実務に追われている常任幹事会に代わって、本会の長期展望を検討する専門委員会の設置を勧告する内容のものである。筆者は幹事長として本会の現状について種々考え、また数名の元幹事長のご意見も伺い、57年3月の幹事会に F 委員会の設置を提案して承認を得た。さらに同年4月に準備委員会を開催し、大頭仁氏に委員長を委嘱し、上述の懇話会の性格その他について検討することを依頼した。F 委員会は現在までに数回開催され、熱心な討議が行なわれており、近く光学懇話会の将来の指針が報告されることになっている。

終りに誌面を借りて下記の委員の方々に感謝の意を表する次第である。

委員長：大頭 仁 (早大理工)

委員：朝倉利光 (北大応電研)	石原 聰 (電 総 研)	一岡芳樹 (阪 大 工)
一色真幸 (日 本 光 学)	泉谷直幹 (小 西 六)	小瀬輝次 (東大生研)
神谷武志 (東 大 工)	佐柳和男 (キ ャ ノ ン)	田中俊一 (東 大 工)
辻内順平 (東工大工)	西田信夫 (日 電)	南 正名 (東 芝)
諸隈 肇 (オリンパス)	谷田貝豊彦 (理 研)	

○昭和57年度第5回常任幹事会

昭和57年12月6日(月)第9森ビルにおいて開催され、「光学」編集、会計、講演会の結果、経過等について報告および審議が行なわれた。また、58年度新任幹事選挙の開票が行なわれ、幹事会推薦候補の26名が新幹事に決定した。

○第109回幹事会

昭和57年12月20日(月)に、機械振興会館に新旧幹事が出席して開かれ、「光学」編集、講演会、会計等の各項目について報告と審議が行なわれた。また、常任幹事の役務分担が決定された。

○昭和58年度第1回編集委員会

昭和58年1月14日(金)に、学士会館本郷分館において開催され、各号の編集状況の確認、編集企画、およびその他の事項について報告と審議が行なわれた。

○昭和58年度幹事

昭和58年度幹事には次の方々を選任されました。

稲垣 雄史(富士通研)	今野 邦夫(日本光学)
岩本 明人(東芝総研)	佐藤 平八(防衛大)
大江原弘昌(ヤシカ)	佐柳 和男(キャノン)
大頭 仁(早大理工)	高島 幸史(東北大科研)
大和田芳子(計量研)	滝澤 國治(NHK基礎研)
片岡 慶二(日立中研)	中島 俊典(理研)
菊池 和郎(東大工)	布下 正宏(三菱電機中研)
菊地 恭孝(ユニオン)	畑田 豊彦(東京工芸大)
北出 篤夫(名大工)	兵藤 直規(小原光学)
久保田敏弘(東大生研)	本田 捷夫(東工大工)
河野 嗣男(機械技研)	南 茂夫(阪大工)
小島 忠(小西六)	峯本 工(神大工)
近藤 英樹(日写検)	山下 伸夫(オリンパス)

なお留任の方々は次のとおりです。

安田 嘉純(千葉大工)	野口 勝(富士フィルム)
園分 泰雄(東工大精研)	立田 光広(武蔵野通研)
不破 正宏(電総研)	龍岡 静夫(NHK基礎研)
小椋 行夫(リコー)	鈴木 喜義(富士写真光機)
一岡 芳樹(阪大工)	梅垣 真祐(東大工)
岩田 耕一(阪府大工)	西田 信夫(日電)
小宮 康治(東京光学)	成相 恭二(東京天文台)
岩橋 賢治(島津製作所)	青木 貞雄(筑波大物工系)
河原 哲夫(東海大工)	立原 悟(旭光学)

升本 久幸(ミノルタ)	渡邊恵一郎(国土地理院)
世古 淳也(慶応大工)	大塚 喜弘(北大工)
吉野 洋一(千葉機械 金属試験所)	藤原 史郎(筑波大物工系)

○昭和58年度常任幹事

昭和58年度常任幹事および役務分担は次のとおり決定しました。

幹事長	藤原史郎	
編集	西田信夫	本田捷夫(文献抄録)
庶務	中島俊典(出版)	立原 悟(幹事会)
	今野邦男(渉外)	
会計	小椋行夫(収支)	山下伸夫(予算)
事業	青木貞雄	片岡慶二
	園分泰雄	小宮康治
	佐柳和男	鈴木喜義
	滝澤國治	畑田豊彦
	不破正宏	吉野洋一
関西	岩田耕一	布下正宏

○昭和58年度文献抄録委員

昭和58年度文献抄録委員は次のとおり決定しました。

委員長 本田 捷夫(東工大)

委員:

荒井 則一(小西六)	石川 和夫(東京工芸大)
伊藤 雅英(理研)	上迫 浩一(農工大工)
梅田 倫弘(静大電子研)	小野 雄三(日電光エレ研)
唐木 幸一(オリンパス)	小松 進一(早大理工)
斎田 真也(製科研)	重松 征史(電総研)
柴田 宜(茨城通研)	瀬田 勝男(計量研)
立原 悟(旭光学)	立野 公男(日立中研)
田部井 誠(東工大精研)	徳光 純(キャノン)
中原 宗雄(小原光学)	波多腰玄一(東芝総研)
馬場 直志(千葉大工)	林 建一(NHK総技研)
馬込 伸貴(日本光学)	横森 清(リコー)

(計 23名)

○昭和58年度通常総会のお知らせ

昭和58年度通常総会を下記により行ないますので会員の皆様はご出席ください。

日時: 昭和58年4月4日(月) 13:00~14:00

場所: 千葉大学(千葉市弥生町)

第30回応用物理学関係連合講演会 X会場

○昭和57年度光学論文賞

昭和57年度光学論文賞は田中一夫氏(キャノン)が受賞されることになりました。授賞式および記念講演は通常総会に引き続いて行なわれます。

○原前編集局長に感謝状

昨年末をもって辞任なされた本誌前編集局長原芳郎氏に、本会より感謝状が贈られることになりました。授与式は昭和57年度通常総会に引き続いて行なわれます。

○第13回コンファレンス報告

第13回画像工学コンファレンスは関連する12学会、9研究会共催の下に、昭和57年12月の7・8両日、東京大手町・サンケイ会館ホールにて、427名の参加者を集め成功裡に終了しました。また、'82国際画像機器展(12月6~8日)も併催され、多数の見学者がありました。

○第30回応用物理学関係連合講演会のお知らせ

昭和58年4月4日(月)~7日(木)の4日間、千葉大学教養学部において開催されます。光学関係の講演日程は以下のとおりです。

月日	会場	午前	午後
4月4日	W	視覚	
	X	光(印刷)	総会・論文賞 光(干渉)
	Y		高速度写真
5日	W	光情報(コヒーレンス, 光計算)	
	X	光(分光)	
6日	W	光情報(スペックル)	光情報(ホログラフィ)
	X	光(結像・SOR 応用)	デバイス(ファイバ)
	Y	表示素子(EC, 他)	表示素子(EC)
7日	W	光情報(散乱応用)	光情報(画像処理)
	X	デバイス(ファイバ, 他)	デバイス(光ディスク)
	Y	表示素子(LC)	表示素子(LC)

○第8回微小光学研究会のお知らせ

主催: 応用物理学会光学懇話会微小光学研究グループ
日時: 4月18日(月) 13:30~17:00

場所: 東京工業大学津田キャンパスGⅡ棟5階 物理情報工学専攻会議室(〒227 横浜市緑区長津田4259 Tel. 045-922-1111 ex. 2562)

演題: ①海外学会報告「OFC '83」 稲田浩一(藤倉電線)

②講演「平行光型及び集光型振動測定用オプティカルプローブの比較」 上羽貞行(東工大精研)

③応物, 通信両学会春季講演会のトピックスより

④見学(光学トンネル, ホログラフィ, 微小光学関係)

資料費: 1,000円(お茶代を含む)

問合先: 〒157 東京都世田谷区千歳台 6-16-1

青山学院大学理工学部 庄野裕夫

Tel. 03-307-2888 ex. 244

○光学懇話会“春季講演会”のお知らせ

下記のとおり春季講演会を開催しますのでお問い合わせのうえ多数ご参加ください。

日時: 昭和58年5月27日(金) 13:00~17:00
(予定)

場所: 航空宇宙技術研究所(東京都調布市深大寺町1880 電話 0422-47-5911)

プログラム:

1. 研究所紹介(スライド30分含む) 13:05~13:45
2. 講演 13:45~15:15

(1) リモートセンシング用光学センサー(45分)

興石 肇(航空宇宙技術研究所計算センター)

(2) 光を利用した風洞計測(45分)

高島一明(航空宇宙技術研究所空気力学第二部)

3. 見学 15:20~17:00

飛行シミュレーター(操縦席), フライ・バイ・ファイバー, 遷音速風洞, リモートセンシングの画像処理の研究施設

参加費: 無料

交通: 中央線三鷹駅南口4番バス乗場(深大寺・神代植物公園行) 航研前下車

(三鷹発 11:09, 30, 57, 12:43)

所要時間約 10 分
 または、中央線吉祥寺駅南口 8 番バス乗場
 (調布駅南口行) 航研前下車
 (吉祥寺発 11: 15, 35, 55, 12: 14, 33, 53)

所要時間約 15 分
 問合せ先: 東京光学機械 (株) 技術本部 小宮康治
 電話 03-966-3141 内線 330

○光計測研究会の報告と予定

●第 7 回研究会 (参加者 19 名)
 日 時: 昭和 58 年 2 月 21 日 (月) 14: 00~17: 30
 場 所: 東大生研第一会議室

演 題: 1) レーザー光による変位・ひずみ計測とその
 問題点 山口一郎 (理研)
 2) 安全工学への光技術の応用 朝倉祝治 (横
 浜国大・工)

●第 8 回研究会の予定
 日 時: 昭和 58 年 4 月 18 日 (月) 14: 30~17: 00
 場 所: 機械技術研究所第一会議室 (常磐線荒川沖駅下
 車, バス 20 分, TEL. 0298-54-2567 松田浄
 史)

演 題: 1) ロボットの規覚センサ 谷江和雄 (機械技
 研)
 2) 機械技研の光計測関連実験室の見学

編 集 後 記

これまで「光学」の発行は原編集局長のご尽力に大きく依存してきましたが、本号の編集途中から編集局が変わり、財団法人学会誌刊行センターに依頼することになりました。本号発行はちょうどその過渡期にあたり、会誌発行が多少遅れ気味で会員諸氏にご迷惑をおかけしましたことをご容赦願います。

さて最近、光学が医用の分野で広く利用されはじめており、利用する立場の人々の関心も高いようです。そこで本号では光学と医用との関連にスポットをあてて「解説」と「最近の技術から」をお願いいたしました。また、講義として新しく企画された光波干渉応用技術が始まります。これはシリーズとして続くもので実際に利用する立場にある読者諸賢のご意見を願います。

(松田浄史, 本田捷夫)